

令和6年シラス曳網調査結果 (第5報)

令和6年8月5日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

7月31日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 29m)、
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

23.5°C~26.5°C

(2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 0~396 尾 (合計 801 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(7月4日、222~2,266尾、合計 3,888尾)と比較し、減少しました。なお、141-05E ではクラゲが大量に入網しました。

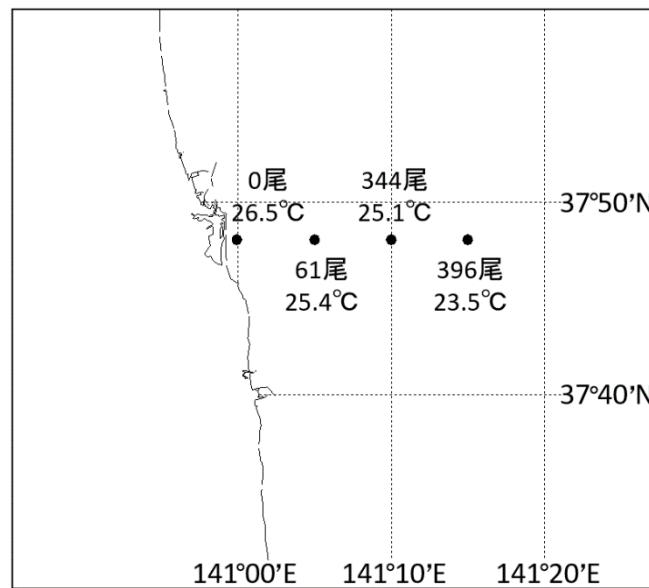


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：6.9～28.8mm

全長15mm前後の群のシラスが採集されました。

141-05Eでは10～25mm程度のシラス、141-10E、141-15Eでは15mm前後の群のシラスが採集されました。

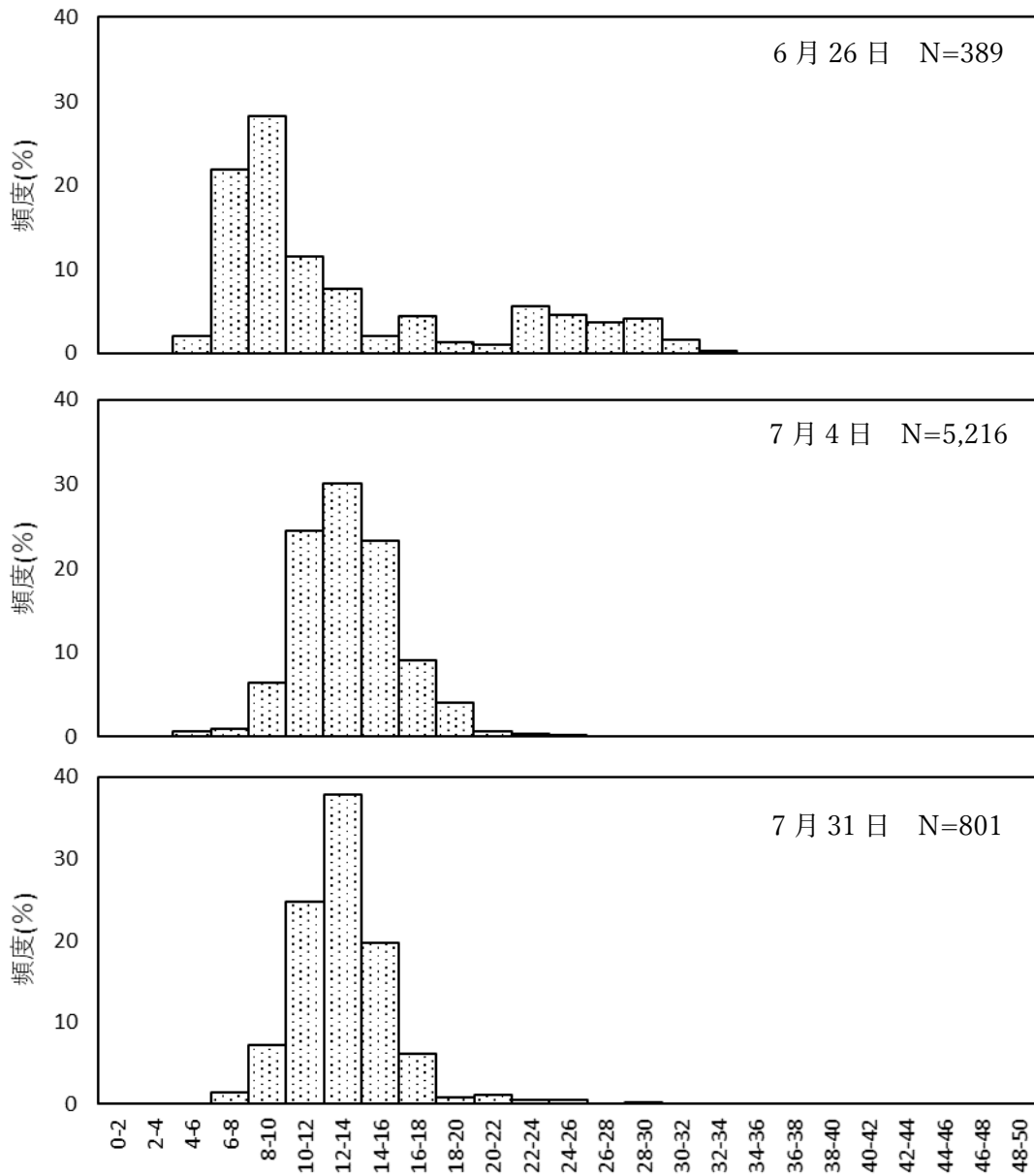


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和6年7月のシラス採捕数は平成18年以降で5番目に多い結果となりました(図3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図4に示します。

今年度はいわき地区では6月3日より、相双地区では6月10日よりシラス漁が開始され、7月末までに約631トン(速報値)の水揚げがありました。

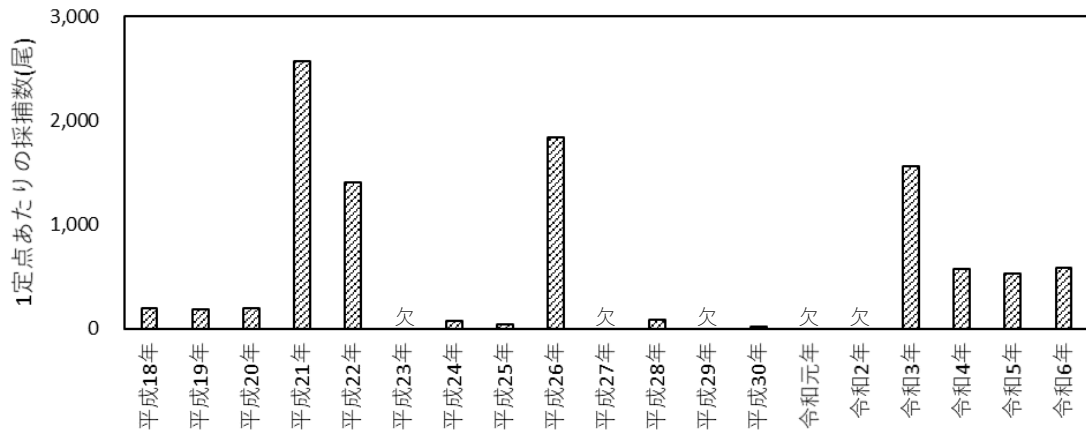


図3 相馬海域における7月の1地点あたりの採捕数

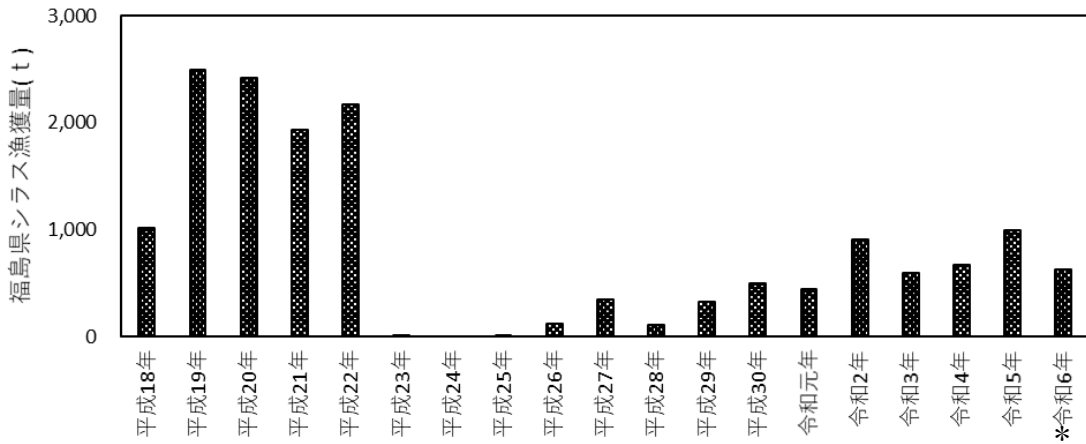


図4 福島県の年別シラス漁獲量

*7月31日までの速報値